

産婦人科におかかりの患者様へ

当院は岡山大学が主体となって行っている、帝王切開癒痕部妊娠の妊娠管理、治療についての共同研究に参加しています。

既往帝王切開の子宮切開創癒痕部に着床したいわゆる“帝王切開癒痕部妊娠”（以下癒痕部妊娠）は、既往帝王切開 2000 例に 1 例と稀な疾患です。癒痕部妊娠は、癒着胎盤や子宮破裂などにより大量出血を来しやすく早期に適切な診断、治療が必要ですが、妊娠継続症例も報告されその管理方法の一致した見解は得られていません。

本研究では、中国四国地方の周産期施設、特に大学病院、総合及び地域周産期医療センターで以下の過去 10 年に診断・治療した癒痕部妊娠症例について多数例の治療経過や予後などの臨床データを集積し、管理指針作成の基礎データを得ることを目的としています。

当院は岡山県の周産期医療の拠点病院の一つとして、県民の皆様の母子保健の向上のために診療を行っています。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

○対象

2006 年 1 月から 2015 年 12 月の間に当院で帝王切開癒痕部妊娠の治療を受けた妊婦さん

○調査方法

この調査研究では診療記録から以下の情報を中心に集めて行います。

- ① 妊婦さんの基本情報（年齢、妊娠回数など）
- ② 既往帝王切開時の情報
- ③ 今回妊娠中に受けた治療内容や超音波検査を中心とした検査内容

○秘密の保持

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、院外に皆様方のお名前や個人情報が出ることはありません。

○この調査にご自分あるいはお子様の診療記録を使って欲しくない方はお申し出ください。

この調査への上記診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。その場合は当院産婦人科にお申し出ください。

研究責任者：多田克彦

国立病院機構岡山医療センター 産婦人科診療部長

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

Tel: 086-294-9911